

# No. 98

2016年（平成28年）

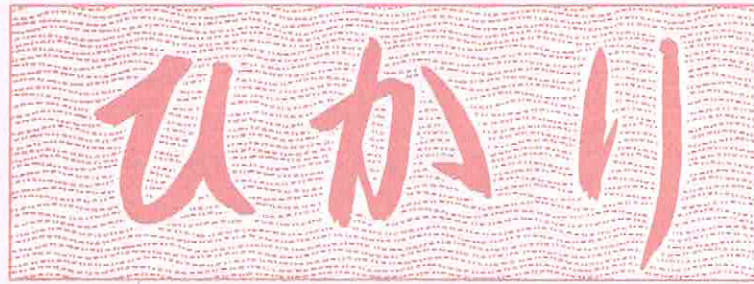
3月1日

発行

浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組

責任者

片桐 淨映



忘れても  
忘れぬ弥陀がある故に  
忘れながらも  
この身このまま

妙好人 因幡の源左



第21回 日高組真宗法座（即生寺）

ヒダカくん・ひかりちゃんのお話

## 『御文章』のお話 その二

**ヒダカ** 今日は蓮如さんという人物についてお話をしようと思うんやけど。

**ひかり** そうそう、エーと、本堂でいうたら、向かって阿弥陀さんの左にいてはる人やね。えーと、どんな顔やっただかな？

**ヒダカ** そうやねん。親鸞さんの顔はけっこうポピュラーで社会科の教科書などにのってて、よく知られてるのやけど、蓮如さんの顔っていうのは今ひとつピンとこないんや。

**ひかり** それに私がついてる蓮如さんのイメージは、五回も結婚した人っていう感じで、何となくひっかかるのよ。

**ヒダカ** 五回も妻を迎えたって言うけれど、どっかの映画俳優のように言うのはよくないよ。最後の方以外はすべて死別だし、同時に二人の妻がいたのではないし。

**うーん**。これは蓮如さんの一代記を話さなくてはいけないな。

**ひかり** 蓮如さんは本願寺の第七代目のご門主の子だったのでしょう。

**ヒダカ** 蓮如さんは、一四一五年に京都の本願寺で門主の長男としてお生まれになった。しかし、お母さんは、家の使用人の女性だったことや、本願寺が今日の食事も困るようなお寺だったので、蓮如さんの生母は、六才のとき家を出ることになり、子供姿を絵師に描かせた。

**ひかり** ふーん。それはお母さんも蓮如さんも辛かったことやろね。

**ヒダカ** 父親が武家から正妻を迎えることになったので、生母は身を引かざるを得なくなった。本願寺を去る前に、生き別れになる我が子の姿をぜひ手元に置きたかったのでしょう。これを「鹿子の御影」と言うんだ。この絵は、福井県の超勝寺というお寺に今も伝わっています。

当時の本願寺は今とは違って、一〇〇平方メートルほどの小さなお寺で、比叡山延暦寺に属する寺でした。

**ひかり** 本願寺が天台宗に属していたの？

**ヒダカ** 親鸞聖人は確かに浄土真宗をお開きになったが、当時は、親鸞さんのお弟子たちの開いたお寺の方が繁盛していたんだ。本願寺は、力も弱く、参詣人もなく、「さびさびとした」お寺だったぞうだ。だから、武士の娘さんを妻を迎えなくては生活できないようなお寺だったんだ。

**ひかり** 今の本願寺からは想像もつかないわね。  
(永原智行)



# 四苦八苦

一般にもよく知られ、一つの単語として、苦勞する、困り果てるという意味で使われている「四苦八苦」ですが、実は仏教用語です。

健康を願いながら因と縁によって病気になる「病苦」です。

身・心の五つの要素で①色(物質)②受(感受作用)③想(表現作用)④行(意思作用)⑤識(認識作用)のことで、①は身体を、②③④は心理的なはたらきを意味します。この五つの要素が盛んに煩惱の炎を燃やすことから生じる苦が「五蘊盛苦」で、先の七つの苦が重なり合って生み出す身心の苦しみのことです。

仏教では、人間世界をサンスクリット語で「saṃsāra(サハー)」といい、「娑婆」と音写します。訳しますと「堪忍土」といい「堪え忍ばなければ生きていけない世界」という意味です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦様は、この苦を解決する道求め歩まれました。そして、確かな依りどころとして「自らを灯とし、自らを依りどころとして他に依ることなかれ」とし、法を依りどころとして他に依ることなかれ(自灯明、法灯明)と説かれました。真実の教え「法」を依りどころにして生きることを示されたのです。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

お釈迦さまは最初の説法(初転法輪)で「人生は苦である」という真理を説かれました。それを具体的に示されたのが「生苦」「老苦」「病苦」「死苦」の四苦で、これは誰もが避けることのできない根本苦です。

## ズ イ ケ ヲ 悦 法

阿弥陀仏の願いはどれでしょう？  
次の1～3の中から一つ選んで番号を書いてください。

1. 阿弥陀仏の思いにかな適う者は必ず救う
2. 一生懸命努力する人を優先的に救う
3. 真実を見ようとせず、逃げていく人を追いかけて救い取る

97号の正解は、「2. 法然聖人」でした。  
正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 由良町 磯田 公子 様 | 由良町 小谷かおり 様 |
| 由良町 中崎工ミコ 様 | 由良町 上道千津代 様 |
| 由良町 松下 エリ 様 | 由良町 畑中 宏之 様 |
| 由良町 松下 光男 様 | 御坊市 塩田 廣一 様 |

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、ご感想・ご意見等を明記の上、下記までお送りください。

〒649-1223  
日高郡日高町小浦195  
円行寺内 日高組事務所

※抽選で10名の方に粗品を進呈いたします。

※締め切り日  
平成28年5月20日(必着)

※発表は次号



### 蓮専寺の桜



蓮専寺では、四月中・下旬の二日間、蓮如さんのご法要「中祖忌」が勤修されます。この季節、本堂前の八重桜が満開になり、参拝の方々を「ようこそ」とお迎えくださいます。写真は、平成二十二年四月の親鸞聖人七百五十回大遠忌お

待ち受け法要のものです。

伝供衆の晴れ着姿の若い女性達と一緒に撮影しました。

その時に張り合ったのか：

翌年より元気なく、ほとんど枯れてしまいました。

総代さん、それに樹医さん

のお力で回復しつつあります。

また中祖忌法要には、十年ほど前より岐山恭子さん、恵美さん親子が、この桜の新葉の塩漬けで作った桜餅をお供え下さり、参拝者にふるまわれます。皆さんもお気軽に参りください。

新葉の塩漬けで作った桜餅をお供え下さり、参拝者にふるまわれます。皆さんもお気軽に参りください。

(岩崎法明)



### 門徒心得

#### 「阿弥陀仏の救いの目当ては私です」

以前、ある遺族から「ご院さん、お爺さんが今亡くなりました、直ぐに枕経(臨終勤行)をお願いします。早く来て下さい」との知らせでした。

故人を成仏させるお経を早く頂きたいと言うのです。貴方は、この方の考えをどう思われますか？

臨終、今まさに故人となった姿は、同じように別れて行く私(自分)の姿に気付かされます。

阿弥陀さまはそんな私を必ず救う、仏国に往き生まれさせると声の仏さま、「南無阿弥陀仏」となって今、私に届いているのです。

阿弥陀さまの救いの目当ては今を生きる私なのです。故人に対する読経は致しません。葬儀、年回忌の法要も故人を偲びつつ、私がお経を頂く縁です。私が聴

聞し、阿弥陀さまの救いを信じお念仏申す身となり安心して日暮らしをさせて頂きます。私たちは、無常の命を生きています。「若いからお寺にお参りするのはまだ早い」との声を聞くことがありますが、聴聞ができる今法座に足を運ぶように心がけましょう。

阿弥陀さまは貴方との出逢いを待っています。(鈴木悟峰)

「ひかり」の法悦クイズは毎回答えを考えるのに時間がかかります。難しいと思つて色々考え本を読んてみたりします。調べるというのを最近楽しんでいます。

※報恩講法要も無事に終わり、新しい年が平和な年になりますようにお祈りしています。来年もよろしくお願ひ致します。

※時々ネットで日高組のH

Pを拝読しますが、法悦クイズの解答はHPを通して可能でしょうか？ハガキより手軽に応募できるのも、もし可能なら有難いです。

※暖かい正月を迎えることができました。穏やかな一年であるよう祈るばかりです。「ひかり」も毎回楽しみに読ませていただいています。ヒダカくん・ひかりちゃんの御文章のお話、分かりやすく教えていただいてうれし

い。 ※ひかりを拝読させて頂くことで知識を得て、浄土真宗の事が少しずつわかってきてうれしく思います。

※毎月MIDOsan、ひかりを持ってきて下さるのを毎回楽しみに読ませて頂いています。本当にありがとうございます。

※年を重ねるとともに、ありがたい教えと感謝しています。

※法悦クイズを楽しみにしております。

※いつもいろいろと有り難うございます。

### 読者の声



### フルーツカッティング I-N 妙願寺

今年度より、第2期日高組実践運動推進計画として寺院活動の活性化の目標に子育て世代の支援が設定されました。

妙願寺では「お寺を子ども居場所にするため、子どもたちとともに子育て世代の親をターゲットにしたイベントを九月二十七日(日)に開催しました。

この企画は、主にフェイスブックで子育て支援グループに呼びかけていただきました。特に子育て世代の親と幼子に今回スポットを当てたのは、幼児や子育て世代の若者にもお寺にご縁を持っていただこうとの思いに他なりません。

子育てに悩む同世代や子



どもたちが一堂に会し、カットし、盛りつけを楽しみ、食材を無駄にしない、残さず食べきる。食を通して命の尊さを知り、ありがたさに気づく。住職からあみださまのお話を聞き、おかげさま、ありがとうございますを合わせる。

身近で親しみのあるところ「あみださまのいるお寺」発見となっていただけ。きっかけづくりでした。

(楠原晃紹)

## 日高組通信

### ☆行事報告

・第二一回日高組真宗法座

日高組主催第二一回真宗法座が十二月十三日(日)午後二時から日高町志賀即生寺に於いて開催され、組内外の門信徒、僧侶ら約百名が聴聞しました。

法座に先立ち昨年からの門徒推進員養成連続研修を受講されている門徒二十七名が受講のたびに練習してきた『正信偈和讃』を片桐組

長の調声のもとお勤め、堂内の参加者とともに念仏の声が響き渡りました。

続いて、大阪教区の若林真人師(本願寺派輔教 布施 光昭寺住職)から「他力真宗」の講題でお取次をいただきました。

若林師にはこの真宗法座には三回のご出講のご縁をいただきました。「他力信心」が阿弥陀さまから一方通行の「ご信心」であります、阿弥陀さまからたまわる信心(他力回向)であり愚賢えらばぬ信心であり私の計らひに關係なく既に届いておられると話され、お念仏が耳から眼から肌から入り満ちてゆき、お念仏申す身とならせていただくことがすなわちご信心をいただいたことであると示されました。

・日高組総代会後期研修会  
平成二十八年一月三十一日、日高町小浦の円行寺に於いて平成二十七年年度、日高組総代会後期研修会が組内二十一ヶ寺の責役・総代・住職が参加し開催された。

この度は、「お寺の護持に関する悩み」について意見交換された。

各寺院共に、過疎による門徒戸数の減少、高齢化等

から寺院護持費の確保に苦慮している状況が報告された。

ある寺院では、経費の支出を抑える為に、報恩講法要の法座数を減らしたり、ご講師の依頼を止める現状の報告があった。

また、各寺院の法要時の参拝者減少状況に関する対策が話題となった。  
ある寺院では、寺院に対する関心度を高める方策として、先ずは役員(責役・総代、以外に、公文さん、班長さん)による研修会の開催や、「大人の寺子屋」を開催する計画を勧めてる話が出された。

各寺院共に総代さんたち役員が苦勞し、お寺を護ろうと苦慮して下さっていることを門徒一同が理解し、「自分たちの寺を自分たちで護る」気持ちで新たにしたいものです。

### ☆行事予定

・実践運動推進委員会  
日時 三月五日(土)

午後二時  
会場 小浦 円行寺

平成二十七年年度の総括と平成二十八年度の計画について協議頂きます。委員各位にはご出席をお願い致します。

・日高組定期組会  
日時 三月二十六日(土)  
午後二時  
会場 小浦 円行寺

組会に先がけ、僧侶・寺族・責任役員・門徒総代の物故者追悼法要を行います。その後、平成二十七年年度の事業報告・決算報告、次年度の事業・予算について、ご審議いただきます。

本年は特に、組長・教区会議員の任期満了に伴う次期組長・教区会議員の選出を頂きますので、各議員方のご出席をお願い致します。  
・第八回連研  
日時 四月九日(土)  
(都合により第二工曜に変更します)  
午後一時三十分  
会場 比井 長覚寺

・第九回連研  
日時 六月四日(土)  
午後一時三十分  
会場 志賀 即生寺

### 訂正

97号(11月1日付)4面「伝灯奉告法要」で五班志賀・比井崎地区寺院の平成29年3月26日(日)は平成29年4月26日(水)の誤りでした。